



全力で交野を一步前へ

10月1日(月)、平成30年第4回議会定例会が開会され、先の市長選挙で再選した黒田実市長が、今後の市政運営に関する所信を表明しました。所信表明の要旨は、次のとおりです。

市民の皆様のご支援を賜り、再び市長として市政運営にあたることは誠に光栄であり、また、その職責の重さを改めて痛感しております。

少子高齢化、人口減少が進む中、交野をいかに活力あるまちとして維持し、それぞれの世代の暮らしをどう支えるのか、公共施設の老朽化が進む中、市民サービスや行政機能の拠点をどう維持・更新していくのか。この背景課題は4年前と変わっておりません。

一方、全国7割以上の自治体が転出超過の中、昨年、交野は転入超過となり、子育て世代に選ばれだしているという兆しが見えます。

まちの活力の維持には、子どもたち、現役世代、シルバー世代、これら3世代の支え合いが重要な基盤となります。この基盤を維持するため、まちの魅力を磨いて若い世代を迎え入れ、持続可能な人口構成を目指していく必要があります。

また、毎年発生する大規模な自然災害により、行政をはじめ市民の皆様の危機意識が大きく高まっています。自助・共助・公助の役割分担と連携により、迅速に対応し、相互に助け合える災害に強いまちづくりが必要です。

以上のことから、次の5つの重点施策を掲げ、その想いを皆様にお伝えいたします。

子どもが元気に成長する環境づくり

若い世代に選ばれるまちにするためには、子どもたちが元気に成長できる環境が不可欠です。以前から重点的に取り組んできた「子育て」「教育」分野の施策の更なる充実を図ります。

子育てについては、認定こども園や放課後児童会の待機児童の解消に最優先で取り組むとともに、幼児期保育の充実により、安心して子どもを産み育てる環境を整えるほか、妊娠から子育てまでの切れ目無い支援の充実や、子どもの居場所づくりに係る取り組みを進めます。

特に市立認定こども園のうち、老朽化が進む1園について、2年後の開設に向け、移設の準備を進めています。この新しい園では、公立保育の良さと民間の運営ノウハウを調和させた、先進的かつ質の高い幼児教育・保育が実践されることを期待しております。

教育については、子どもたちがこれからの時代・環境の変化に対応し、社会で活躍できるよう、外国語対応力・言語活用能力・論理的思考力を柱とする「生きる力」を、小・中学校9年間を見通した一貫性の



ある教育で伸ばします。

また、学校についても、時代の変化に対応した規模の適正化や施設の老朽化対策に着手し、より良い教育環境を目指します。

支え合う健康・福祉のまちづくり

少子高齢化や超高齢社会という言葉が注目されていますが、加齢は誰もが平等に迎えるものです。子どもたちの成長を喜びながらいきいきと暮らすシルバー世代は、現役世代の目標でもあるはずです。

いつまでも健康で、住み慣れた住まいや地域で自分らしく暮らせるよう、医療や介護、生活支援や介護予防が一体的に提供される地域包括ケアの充実や、認知症高齢者に向けた支援を進めます。

また、障がいがある人についても、ライフステージに応じた切れ目無い支援を行い、障害者差別解消法に則り、相互理解を深める取り組みを進めます。



みんなで安全・安心なまちづくり

住み続けたいまちであるためには、暮らしの安全・安心や、人権が尊重された平和で穏やかな日常の確保が必要です。

自然災害が頻発する中、その初期対応か

ら復旧・復興にかけて自治体の役割はますます重要となっています。これまでも危機管理室の設置によるマネジメント強化や消防救急職員の増強、他市消防との相互応援協定などの充実を図りましたが、先の大阪北部地震では、耐震化が図られていない市役所本庁舎に被害が発生しました。

災害時、庁舎の機能不全による支援の停滞があつてはなりません。これまでの課題について整理・検討を進め、公共施設等総合管理計画や再配置計画との整合を図りながら、暮らしの安全・安心を守る拠点としての庁舎整備にも、本格的に着手します。

また、まちの防災力・防犯力は、行政と地域の皆様との役割分担と連携により、強化していくことが求められます。そのため情報共有や知識の啓発、財政支援等、これまでの経験や実績を踏まえた取り組みを進めます。

地域の活力と雇用を生む基盤づくり

3世代が安心して元気に暮らすためには、交野の活力を維持し、まちを元気にする取り組みも重要です。

現在、地権者が主体となり進められている星田北エリアのまちづくりは、第二京阪道路と星田駅に囲まれた交通アクセスの良さを生かし、計画的な道路・公園の整備などにより、農業・住居・産業が調和した、将来に渡って魅力あるまちを創出しようとするものです。

住民誘致だけでなく、商業施設や医療・福祉施設、企業の進出により、地域経済の活性

化や身近な雇用も大いに期待できるプロジェクトです。

本市としても、技術的支援や公共施設整備に係る支援など、活力を生む都市基盤づくりを進め、移住・定住人口の増加や企業誘致に繋げたいと考えています。

未来へつなぐ環境づくり

身近に広がる自然は、誰もが認める交野の魅力・財産です。

生活の糧である水道水や季節の農産物、四季折々の風景など、私たちは豊かな自然の恩恵の中で暮らしています。

この環境を次世代に引き継げるよう、里山の保全や低炭素社会にむけた環境マネジメントシステムの運用、再生可能エネル



ギーの導入など、環境に優しいまちづくりを進めます。

また、次の10年を見据えた中長期的な計画である総合計画や、都市計画マスタープランの改訂にも着手します。



これらの政策を進めるためには、行政の持つ人・もの・お金・情報といった資源を効率的に活用しなければなりません。

市の財政は依然厳しい状況にあります。将来を見据え、やるべきことを着実に実施していくために、市役所の職員力・組織力を強化し、行政運営機能や財政基盤の強化に取り組めます。

特に、公共施設再配置関連や学校規模の適正化、星田北エリアの区画整理事業など、今後のまちづくりに影響が大きいものについては、事務・事業をこなすだけでなく、関係者と協力しながら、よりの確で分かりやすい情報発信に努めます。

子どもたちがのびのびと成長し、現役世代が元気に働き、シルバー世代が健康寿命を延ばし、交野の活力を生かしながらまちの活力をしっかりと維持し、「住みたい」「住み続けたい」「住んで良かった」と思える交野に向けて、市民の皆様と共に、このまちを一步前へ進めていきます。

皆様のこれまでの取り組みに対するご協力に感謝し、これからの取り組みへのご理解・協力を心からお願ひ申し上げます。

